

多摩区観光ボランティアガイドによる、多摩区の魅力発見！モデルコース⑥

東高根森林公园と長尾の里めぐり

東高根遺跡や天然記念物であるシラカシ林を有する、多摩丘陵の懐かしくも美しい自然を今に伝える東高根森林公园をはじめ、長尾の里の様々な遺跡、アジサイで有名な妙楽寺などをめぐる、歴史・花・自然を楽しめるコースです。

距離：3.6km
時間：3時間
難易度：健脚向き

凡例

- ルート
- サブルート
- 主なみどころ
- バス停
- トイレ
- コンビニ
- 公園・緑地等



②松寿弁財天社（下げ綱松）

松寿弁財天のあるこの場所は、多摩川を見下ろす急峻な台上で、この丘陵は古くは城塞の役目を果たしていました。「下げ綱松」については、稻毛三郎重成や豊臣秀吉の小田原攻めに参戦した上杉の兵人たちが多摩川で洪水に遭い、老松に綱を掛けて助かったという伝承があります。更に天保時代には、古木になつた「下げ綱松」に強い靈験が宿るという信仰が集まり、江戸からの参拝者が絶えなかったといわれています。



③東高根森林公園（東高根遺跡）

多摩丘陵東部川崎市のほぼ中央に位置する東高根森林公園は、南北二つの台地と二つの谷戸がある丘陵地形の中にシラカシ林、クヌギ・コナラ林等の樹林地、水田湿生植物園等がある緑豊かで静かな公園です。

面積は約12ha、昭和53年(1978年)開園。

現在の古代芝生広場は弥生時代から古墳時代にかけての^{*}竪穴住居跡を主とする集落跡が埋蔵保存されており、その周囲を天然記念物に指定されているシラカシ林(県指定天然記念物)が取り囲んでいます。※東高根遺跡を県指定史跡に指定(昭和46年12月)



④長尾神社

長尾神社の社叢林は、いわゆる鎮守の森と称し、昭和53年(1978年)9月、指定第21号によって、川崎市により保存に指定された貴重な森です。主な林はマツ・シラカシ・イヌシデ。この神社は五所権現社と赤城社が合祀されたもので、五穀豊饒を祈り、氏子2人と稚児2人が的を射る「マトー」と呼ばれる伝統行事で古くから知られています。

地元の人々は親しみをもってこの神社を「権現様」とよんでいます。



⑤妙楽寺

約1,000本のアジサイが咲く妙楽寺の歴史は古く、木造薬師如来両脇侍像^{*}(川崎市重要歴史文化財)を修復する際、日光菩薩像の胎内から発見された墨書により、この寺が長尾山威光寺の旧跡であることがわかりました。また鎌倉時代、源氏累代の祈祷所であった威光寺は、鎌倉時代初期に頼朝の弟・全成(幼名 今若丸)をこの寺の住職にしていたことも歴史書「吾妻鏡(あづまかがみ)」から伝えられています。

※年代は室町時代(永正6年/1509年)、昭和43年2月10日市指定、薬師48cm、日光65.5cm、月光65.5cm



⑨天然氷

長尾では、冬に二ヶ領用水の水を利用して天然氷を作っていました。場所は旧向ヶ丘遊園正門そばの山裾からJR久地駅あたりまでの丘陵地帯で、日中も日陰の場所に溜め池が84ヶ所も作られていました。池は長方形で約5.6坪、深さは2尺程度、周囲に厚さ3寸以上の松板かレンガを積み、さらに底には厚さ2寸5分~3寸以上の砂利かレンガを敷いたとされています。夏の盛りに東京渋谷方面へ出荷し、明治14年(1881年)頃~大正11年(1922年)まで続いたといわれています。

